学校番号	３２３

令和８年度　芸術科（音楽）

教科	芸術	科目	音楽Ⅲ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「Joy of Music」　（教育芸術社）						
副教材等	自主教材プリント						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・これまでに学んだ技能や表現方法を高めることをめざします。
・２年次に行った課題設定や練習計画を客観的に見つめ工夫を凝らし、他者の演奏や講評からも積極的に学び、自分の理想とする作品を完成させます。
・鑑賞の時間やお互いの演奏に耳を傾け、講評を行うことで、より一層感性を磨きます。
・学習の到達度は、毎時間の取り組みの姿勢や授業中の発言、実技テスト・授業で配布するワークシートで評価します。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
・さらに高度な技術・知識を身につけ、課題内容に適した表現を行う。
【思考力、判断力、表現力等】
・音楽文化について理解を深め、個性豊かな表現と主体的な鑑賞ができるよう努力する。
・課題を通して他者とコミュニケーションを取り、多様な考え方・多面的な捉え方を理解する。
【学びに向かう力、人間性等】
・生活と音楽の関わりを考え、生涯にわたり音楽を愛好し音楽文化を尊重する心情を育てる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解している。 ・自己のイメージを明確にし、それを表現するために必要な歌唱、器楽、創作の知識・技能を身につけ創意工夫を行う。	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと、感受したことの関わりについて考え、どのように表すかについて表現意図を持ったり、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴いたりしている。	音楽や音楽文化に関心を持ち、個性豊かに主体的・協働的に音楽活動を行う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	ミュージカルナンバーを歌おう	【歌唱】【鑑賞】 「天使にラブソングを」 「天使にラブソングを2」より Oh Happy day!(合唱) 「レ ミゼラブル」より 夢やぶれて(独唱) 民衆の歌(独唱)	a:視覚と聴覚から、音楽を形づくる要素を知覚し、表現したいことを伝えるための技能を身につけている。 b:ミュージカルへの理解を深め、そこから生まれる雰囲気や特徴を感受しながら、登場人物の心情や場面を考え、またストーリーと歌詞の内容との関係を理解し、いかに表現するか、意図を持って演奏している。 c: 映像と音楽の調和に関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。声を出すことの心地よさを味わい、表情豊かに歌うことに積極的に取り組んでいる。	演奏の聴取	演奏の聴取ワークシート	観察 ワークシート
	ギターの音色を活かして伝えよう	【器楽】【創作】 オワリはじまり(アンサンブル)	a: 表現したいことを伝える技能を身につけ、個性豊かに創造的に表現している。 b:音楽Ⅰ・Ⅱで学んできたことや他者との協同といった経験を生かし、また、音楽を形づくっている要素を知覚し、そこから生まれる雰囲気や特徴を感受しながら、どのように表現するか意図をもって演奏している。グループ活動においては楽器編成を考慮した編曲を行い、自らの解釈をどのように表現するか、意図を持って創作している。 c: アンサンブルに関心を持ち、その持ち味を生かして演奏することに主体的に取り組んでいる。	演奏の聴取	演奏の聴取ワークシート	観察 ワークシート

2学期	ハーモニーを作ろう	【歌唱】 心の瞳　（混声三部） 群青　（混声三部） 証　（混声三部） Jupiter　（混声三部） 正解　（混声三部） より選択	a: 表現したいことを伝えるための技能を身につけている。 b:音楽を形づくっている要素を知覚し、そこから生まれる雰囲気や特徴を感受しながら、歌詞の内容との関係を考え、どのように歌うか意図をもって表現している。 c: 声を出すことの心地よさを味わい、イメージを持って歌うことに積極的に取り組んでいる。	演奏の聴取	演奏の聴取	観察 ワークシート
	生活と音楽	【歌唱】【器楽】【創作】 Happy Xmas ～War is over クリスマスソングメドレー 他	a: 表現したいことを伝える技能を身につけ、個性豊かに創造的に表現している。 b:音楽Ⅰ・Ⅱで学んできたことや他者との協同といった経験を生かし、また、音楽を形づくっている要素を知覚し、そこから生まれる雰囲気や特徴を感受しながら、どのように表現するか意図をもって演奏している。グループ活動においては楽器編成を考慮した編曲を行い、自らの解釈をどのように表現するか、意図を持って創作している。 c: アンサンブルに関心を持ち、その持ち味を生かして演奏することに主体的に取り組んでいる。	演奏の聴取	演奏の聴取	観察 ワークシート
3学期	日本語の語感を活かして届けよう	【歌唱】 アイノカタチ 時代(二部) 春代、来い(二部)	a: 表現したいことを伝えるための技能を身につけている。 b:音楽を形づくっている要素を知覚し、そこから生まれる雰囲気や特徴を感受しながら、歌詞の内容と自らの心情の関係を考え、どのように歌うか意図をもって表現している。 c: 声を出すことの心地よさを味わい、イメージを持って歌うことに積極的に取り組んでいる。	演奏の聴取	演奏の聴取	観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度